

令和元年度ホタテガイ採苗情報（第9報）

令和元年6月28日

発行：岩手県水産技術センター

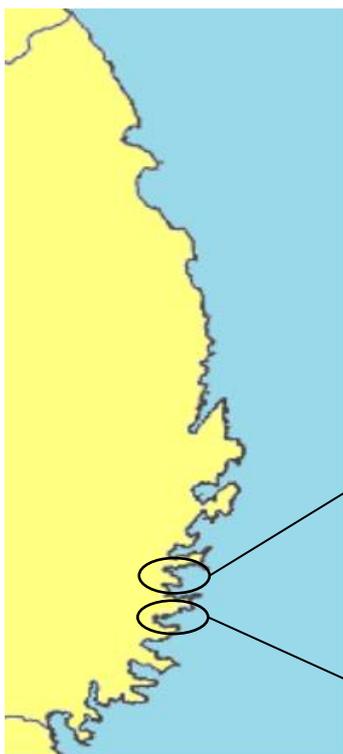
協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター
関係漁業協同組合



ホタテガイの付着稚貝数がさらに増加しました。

< 調査結果の概要 >

- 6月27日の唐丹湾の水深10m層水温は13.5℃で、透明度は11.0mでした。
- 唐丹湾では、ホタテガイラーバの出現が継続しています。
- 唐丹湾の試験採苗器へは739個体（6/20～6/27）のホタテガイ稚貝が付着しており、このうち付着直後の稚貝の割合は16%ほどでした。
- 唐丹湾における稚貝の付着がさらに増加しています。
- また、唐丹湾では、ムラサキイガイのラーバ及び付着稚貝が増加しています。



平田
—個/m³ —個/m³
5/22～6/19 949個/袋

唐丹 6/27 13.5℃
38個/m³、15個/m³
6/20～6/27 739個/袋

調査点 調査日 水深10m層水温
ラーバ出現数(殻長200μm未満、200μm以上)
試験採苗器垂下期間 付着稚貝数

図1 各定点の調査結果
(国土地理院地図 国土地理院HPより)

次報は、7月5日頃に
発行する予定です。

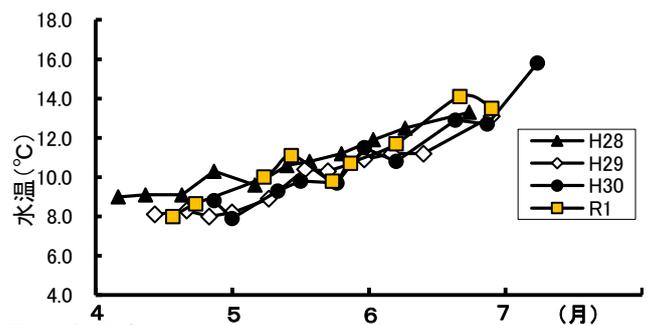


図2 唐丹湾定点における水深10m水温

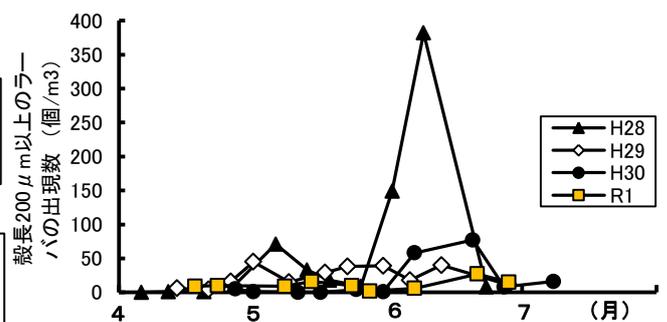


図3 唐丹湾におけるホタテガイラーバ出現数

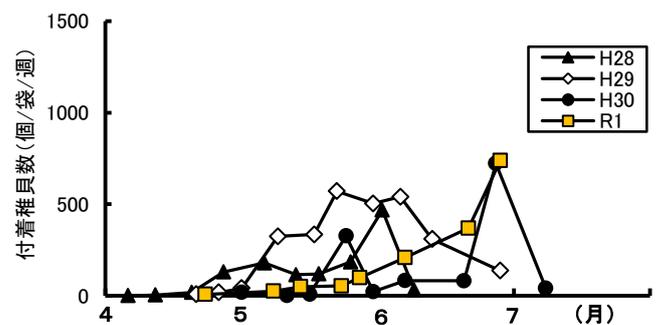


図4 唐丹湾における1週間当たりのホタテガイ付着稚貝数